



インドネシア現地法人

が大暴落し、一時は非常に厳しい環境に立たされました。経済環境の悪化からの脱却を図るため繊維加工助剤の市場を確保しつつ、

樹脂添加剤のOEM生産、食品添加物及び金属表面処理剤の販売開始等、非繊維分野への展開を図りながら今日に至っています。

現在のインドネシア経済は、特に自動車産業を中心として発展目覚しく、またリーマンショックの影響もほとんどなかった事もあり、日本でも盛んに報道される注目の1つとなっています。一人当たりのGDPは3000ドルを超え、インフレ率は3-6%で推移しています。ジャカルタ市内にはショッピングモールが127件もあって、週末には買い物客、食事客で大変賑わっています。反面、急激な経済の伸びに社会インフラが追いついていない部分もあり、特にジャカルタ市内及び近郊の交通渋滞は年々ひどくなっています。この対策にジヨコウイ新ジャカ

ルタ州知事の手腕が問われることになりそうです。

インドネシアの内需に根を下ろす

長びくデフレ不況に喘ぐ日本市場とは、全く間逆の感があるインドネシアにおいて、我が社のグループ内における注目度、重要度は益々増えています。まずは伸長する内需にしっかりと根を下ろす為、特に食品添加物事業や環境・人体に優しい化学製品の展開に注力いたします。またASEANやアジア以西まで視野に入れた事業展開を考える上で、インドネシアは立地的にも非常に適した国です。将来的にはアジアの生産拠点として、グループグローバル戦略の中核となる様に取り組みんでいきたいと思っています。

活況を呈する インドネシア市場

繊維加工助剤メーカーとして、1996年にインドネシア・ジャカルタ郊外のカラワン工業団地に進出しました。当時のインドネシアは中国に次ぐ繊維加工地として注目されており、日系企業も多く進出しておりましたが、翌年のアジア通貨危機によりインドネシア通貨「ルピア」

アジアビジネスを
レポート!

京都 ~~クロス~~ Asia

京都からアジアに進出し活躍する企業と、アジアビジネス相談デスクアドバイザーからアジア各国を紹介します。

今回は・・・

インドネシア進出企業 REPORT

第一工業製薬株式会社
PT. Dai-ichi Kimia Raya
President Director 木谷 文彦



所在地：京都市南区吉祥院大河原町5
事業内容：工業用石鹼・界面活性剤・合成糊料・化成品（製）

インドネシア現地法人

社名：PT. Dai-ichi Kimia Raya
所在地：Jl. Maligi II Lot G-2 Kawasan Industri KILC, Karawang Barat, Jawa Barat, Indonesia
設立：1996年9月
事業内容：繊維薬剤、紙用薬剤、樹脂薬剤及び食品添加物の製造・販売



私が紹介!

●アジアビジネス相談デスクアドバイザー●

株式会社 Future Works & Co.
代表取締役・公認会計士 中村 正英

インドネシア進出形態

インドネシアへの進出形態として、株式会社 (PT.) と駐在員事務所での方法があります。両社ともにインドネシア投資調整庁の承認が必要となります。

株式会社 (PT.) の設立手続は日本よりも煩雑で、2~3ヵ月

かかります。株式会社 (PT.) は定款目的に記載された範囲内でのみ業務が行えます。また、インドネシアには外資規制 (ネガティブリスト) があり、外資100%で設立できない業種があります。

駐在員事務所の設立手続は1~2ヵ月かかります。駐在員事務所は売上が計上できない組織で、日本法人の支店という扱いになります。一般的には、インドネシアの代理店の営業を支援する目的で設立されます。

最近、合併会社を解消したいという相談や定款目的を変更したいという相談も増えています。

アジアビジネス相談デスク 専門アドバイザーによる個別相談室です。お気軽にご利用ください。

お申込み・お問合せ 京都商工会議所 アジアビジネス相談デスク (産業振興部内)

TEL 075-212-6442 URL://www.kyo.or.jp/management/asiabusiness.html